



岐阜県 安全・安心まちづくり情報

～ 第12号～ (平成25年3月)

「岐阜県安全・安心まちづくり情報」第12号をお届けします！

平素は「安全・安心まちづくり県民運動」にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

(今号の記事内容)

- 県内の犯罪情勢 (平成24年暫定) について
- ボランティアの皆さんへ
- 「安全・安心まちづくり地域連携会議」を開催しました
- 「防犯ボランティアフォーラム in ぎふ」に参加しました

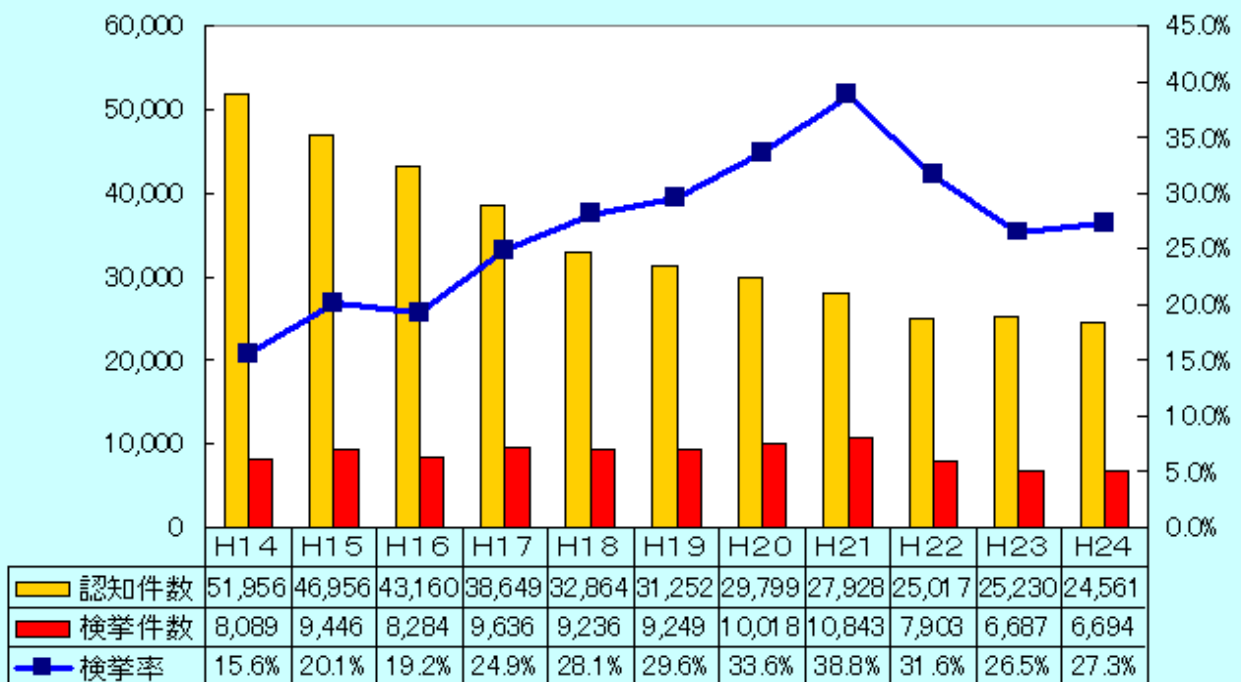
県内の犯罪情勢(平成24年暫定)について 【統計値:岐阜県警察資料(暫定値)】

刑法犯罪の推移

岐阜県における平成24年中の刑法犯認知件数は24,561件で、前年に比べ▲6,694件(▲2.7%)減少しており、ピークであった平成14年の半数以下となっております。

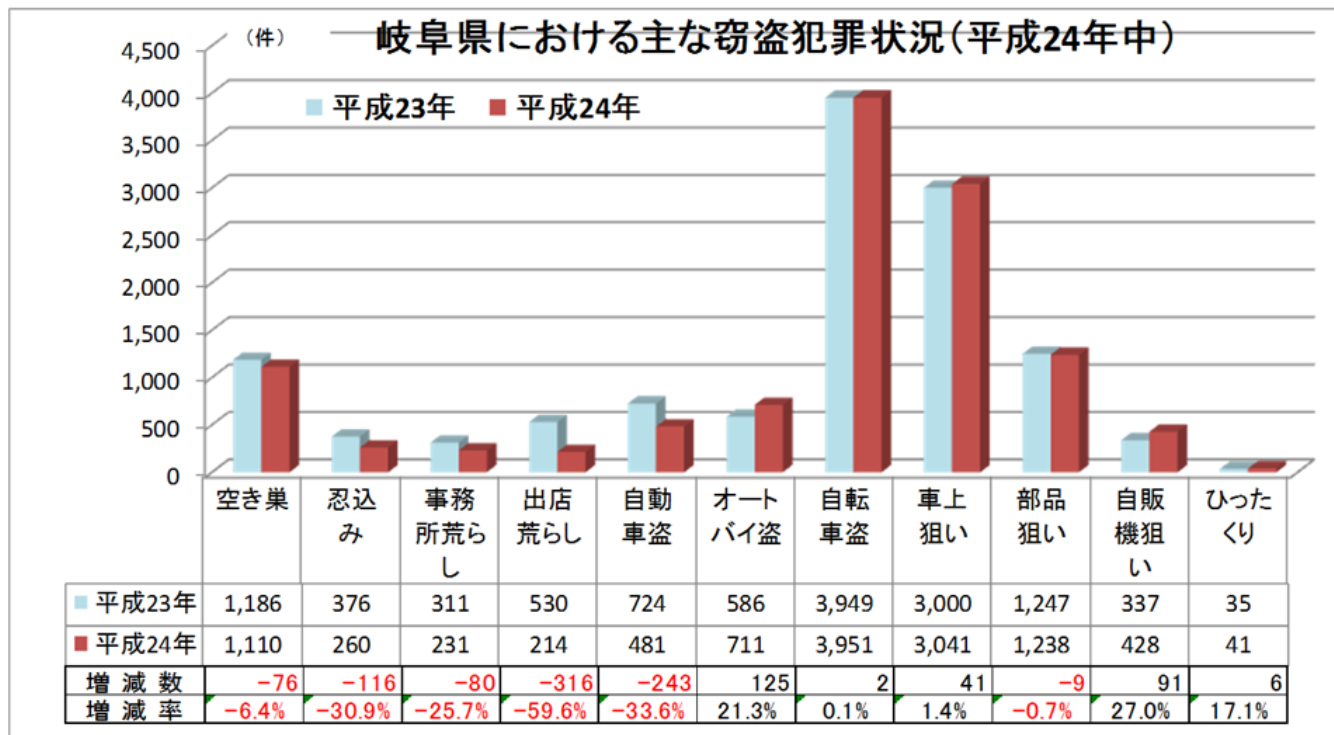
検挙率は、27.3%で、前年に比べ0.8ポイント増加しましたが、全国順位は43位(昨年45位)となり、2年連続で30%を割り込みました。

岐阜県における刑法犯罪の推移



刑法犯に占める主な街頭犯罪と侵入犯罪等の割合

街頭犯罪のうち自転車盗は、平成24年中で3,951件発生し、1日平均で約10.8台盗まれており、刑法犯総数の約16%を占める発生の多い犯罪です。また、車上狙いは、平成24年中で3,041件発生し、うち約33%が無施錠です。1日平均で約8.3件、被害1件当たりの平均被害額は約5.4万円となっています。



- オートバイ盗 約21%増加
- 自動車盗 約▲33%減少
- 出店荒らし 約▲59%減少
- 自動販売機狙い 27%増加

ボランティアの皆さんへ

岐阜県社会福祉協議会では、ボランティア活動を支援するため、以下の助成を実施しています。

○岐阜県ボランティア活動振興基金

高齢者、障がい者の在宅福祉の推進に関することや、地域や家庭における子育て支援に関する事など、地域福祉の振興に寄与する事業をボランティア団体等が行う場合、対象事業費に応じて、一定額までの助成をしています。

※助成の決定にあたっては、選考をさせていただきます。

※団体の運営経費等、助成の対象とならない経費があります。

岐阜県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動支援センター
Tel 058-273-1111 内線 2518

「安全・安心まちづくり地域連携会議」を開催しました！

自主防犯ボランティア、県、市町村、警察など関係機関が情報共有を行い、地域住民と行政との協働による地域安全運動を効果的に行うとともに、安全で安心な地域づくりを目指して、「安全・安心まちづくり地域連携会議」を開催しました。

会 場	開催日時及び場所	参加人数
西濃会場	平成25年2月19日(火) 13時～16時 西濃総合庁舎(大垣市)	90人
中濃会場	平成25年2月21日(木) 13時～16時 美濃加茂市生涯学習センター	40人

【会議概要】

■あいさつ

■最近の犯罪情勢等について

岐阜県警察本部 生活安全総務課 中島課長補佐から、最近の刑法犯の認知件数など、犯罪情勢についてや、東日本大震災警備特別派遣に出動された体験をもとに、災害に対する備え及び、防犯ボランティアの必要性についてお話をいただきました。

■県防犯協会における取組について

公益財団法人岐阜県防犯協会 専務理事 久津屋 和彦さんから、県防犯協会における取組や、青パト、ボランティア保険、子ども110番の家など、防犯ボランティア活動に対する支援についてお話をいただきました。

■犯罪被害者等支援について

公益社団法人ぎふ犯罪被害者支援センター 主任相談員 塚本 真美子さん(西濃会場)と、犯罪被害相談員 阪本 智子さん(中濃会場)から、支援センターの活動状況の説明を通じて、犯罪被害者が抱える様々な問題及び支援の必要性、犯罪被害者の心理状況、犯罪被害者等に対する地域社会の果たす役割、接し方などについての説明をいただきました。

■防犯ボランティア団体による事例発表

朝日大学法学部防犯ボランティア団体「めぐる」の大学2年生 鈴木 清将さん、横山 駿介さん、野原 翼さんから活動をご紹介いただきました。「めぐる」誕生の経緯と名前に込められた思い、活動内容として、散歩レンジャー、清掃活動、児童を対象とした防犯教室などについて、苦労や課題、活動から得られたことを交えてお話をいただき、今後は新たに防災にも取り組みたいと締められました。

■グループに分かれて意見交換会

参加者が6人から8人程度の小グループに分かれ、防犯ボランティア団体、フレンドリー企業、行政、警察それぞれの立場から、活動における課題、今後の展開、地域での連携について意見交換を行いました。



《防犯ボランティア団体「めぐる」の発表》

県内各地から多数ご参加いただき、ありがとうございました。
地域で連携して「安全・安心まちづくり」を目指しましょう。

「防犯ボランティアフォーラムinぎふ」に参加しました！

県内で活躍する様々な世代の防犯ボランティア団体が、世代間交流を図ると共に、情報の共有化と活動の更なる活性化を目的とした「防犯ボランティアフォーラム in ぎふ」(県警主催)が県警本部で開催され、22団体、約50名が参加しました。昨年10月に「安全・安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰」を受賞した「多治見自警団」の松島祥久団長が、活動内容などを発表されましたので、ご紹介します。

～ 多治見自警団 ～

●活動地域: 多治見市内

●活動人数: 多治見市の企業の従業員など、約470名

【活動を始められたきっかけ】

放火や侵入盗などの続発を受け、「自分たちの家族や会社は自分たちで守る」と、平成17年9月に市内の事業所有志に呼びかけ、結成しました。

【主な活動内容】

●防犯パトロール

週3回程度、市内12ルートを設定し、3人1組

で徒歩による夜間巡回パトロールを実施しています。 ≪「多治見自警団」松島祥久団長の発表≫

●危険箇所改善、廃屋・空家調査

側溝の蓋掛けを自分たちで敷設したり、巡回地域を中心に廃屋・空家調査を警察との連携により実施(平成18年5月・平成23年6月)した結果、2棟の廃屋が撤去されました。

●防犯情報の提供

「多治見自警団ニュース」を毎月発行し、団員のパトロール日記、防犯情報・団員動向を情報提供しています。また、地元コミュニティFMに毎月最終水曜日に団員1名が5分程度出演し、巡回中の話題などを伝えています。

●「ひろた基金」の設立

東日本大震災で被災した、岩手県陸前高田市広田町を支援するため、「ひろた基金」を設立し産業である漁業の復興を願って、1口1万円、10年間海産物の購入を行います。平成23年度は147口のわかめを購入しました。平成24年度はホタテの購入を予定しています。

●多治見自警団総会・優秀団員表彰式

毎年、団員の交流と慰労を兼ねて、立食パーティー形式で開催し、各班1団員を表彰しています。



皆さまの活動の様子をご紹介させていただいております。
活動情報についての情報をお待ちしております。

安全・安心まちづくり県民運動～自分の地域の安全は、自分たちで守る～

岐阜県 環境生活部 環境生活政策課 地域安全室 地域・交通安全係

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1

Tel 058-272-8205 Fax 058-278-2605

e-mail c11260@pref.gifu.lg.jp

<http://www.pref.gifu.lg.jp/bosai-bohan/bohan/hanzai-zero-machi/>